

高校通学区 拡大反対!

県教委は学区拡大方針を白紙に戻し 現行制度の改善にとりくむべきです!

高校通学区拡大計画「凍結」署名にご協力ください

県教委は2012年12月20日、「新通学区に係る公立高等学校入学者選抜の改善について」を教育委員会会議で報告しました。学区拡大の「基本方針」の元となった「検討委員会」での論議の内容やそれを受けて県教委みずからが決定した学区拡大の「基本方針」を逸脱する内容になっています。中学生を犠牲にし、教育現場を混乱させる通学区拡大計画はいったん凍結し、幅広く県民の意見を聞き再検討すべきです。

～単位制普通科・総合学科を複数志願に加える～

●兵庫県高等学校通学区検討委員会が行った「報告」(2011年11月)および県教委が策定した「基本方針」が学区拡大の対象としていたのは、全日制普通科(学年制)でした。ところが、「改善」では全日制普通科(単位制)と総合学科が対象校に加えられています。もし、検討段階からこの「方針」が示されていたら、地域や県民世論に大きな影響を与えていたはずです。

～「その他校希望」の廃止～

●県教委は、「その他校希望」についても「通学距離や時間を考慮した『その他校希望』制度となるよう、そのあり方を見直す」と約束していました。それを突如廃止にしてしまったのです。県教委は「一定の点数を取ればどこかの高校に入学できるという総合選抜制の良い点を取り入れている」と説明してきました。「その他校希望」は複数志願選抜の看板だったはずです。

現行通学区に 大きな問題は ありません!

●「基本方針」では「『連携校方式』は残しつつ、生徒の選択幅を広げるにふさわしい複数志願選抜制度にする」としていました。それを「生徒の選択幅を広げるという観点から…連携校以外からの合格比率を18%以内とする」に変更したのです。合格比率を18%以内に変更すれば連携校方式の維持は困難になり、事実上廃止につながる事が考えられます。



～但馬、連携校以外からの合格を18%に～

学区拡大反対連絡協議会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通5-2-10
Tel. 078-341-6745 Fax. 078-351-3185